



【シナリオトレーニング方法】

1 初級編

救命講習テキスト(P20)を参照し、いつ、どこで、誰が、どうした、呼び掛ける
とどうだったを組み合わせ、実際に訓練する。

2 中級編

身近で発生する可能性がある想定から、以下のように訓練を組み立て実施する。

(事前準備)緊急時における最善の行動(手本となる行動)



(事前準備)最善の行動(手本となる行動)を阻害する要因は何か



(事前準備)阻害する要因に焦点を当てた想定を考える



(以下、実際の講習で)想定に基づき、受講者に最善の行動を考えさせる(グループ討議等)



検討結果を発表させ、全体のイメージを共有・助言し、実際に想定訓練を行う



訓練後、頭で分かっている、思うように行動できないことを実感してもらい、訓練の大切さを理解する

【シナリオトレーニング方法】

3 上級編

初級編、中級編の想定をもとに、**想定した場所で訓練**を行う。これにより、実際の距離感や時間経過を実感し、緊急時の活動に活かす。

実際に大きな声じゃないと
声が届かない

すぐに人は来ないかも

すぐにAEDが届かない

すぐに救急車は来ない

